

## ②農村計画学会 2011 年度 秋期大会シンポジウム (第2報)

学術交流委員会

日 時：2011 年 11 月 26 日 (土) 13 時～17 時 20 分

場 所：九州大学箱崎キャンパス内 国際ホール

テーマ：阿蘇草原保全の現状と再生への課題

—阿蘇の文化的景観の持続的保全管理と地域活性化を求めて—

### シンポジウムの趣旨

本シンポジウムでは、危機的な状況にある阿蘇草原の持続可能な利用と地域活性化の展望を切り開くことを目的とする。最初に、阿蘇地域の文化的価値の評価と保全策を検討するために設置された阿蘇文化的景観調査検討委員会会長の中越信和氏により、重要文化的景観論が展開される。そこでは、伝統的産業と生活を基盤とする社会の成立、多様な景観構成要素とそれらの有機的関係、多様な生物種とその生育地の保全の意義など、阿蘇の自然と人との歴史的・有機的関係性のあり方が提示され、阿蘇の文化的景観の基盤たる草原保全のための広い視野が与えられる。続いて、阿蘇草原の多面的価値(めぐみ)の発揮のために15年間にわたり野焼き支援ボランティア、あか牛オーナー制度などの活動や阿蘇草原再生協議会の中核的役割を担ってこられた阿蘇グリーンストックの専務理事山内康二氏と畜産農家として長く草原の保全管理を担い、6年前からは草原再生シール生産者の会の活動や阿蘇市生涯学習講座の講師などの新たな取り組みを展開されている町古閑牧野組合長市原啓吉氏から草原保全の豊富な実践経験が披露され、最後にパネルディスカッションにおいて阿蘇草原の再生への課題、阿蘇の文化的景観の持続的保全管理と地域活性化への貢献と展望などの総括が行われる。

プログラム：

開会挨拶・座長解題 (13:00～13:15)

横川 洋 (九州共立大学経済学部)

高橋佳孝 (近畿中国四国農業研究センター)

第1報告 「阿蘇の文化的景観と重要文化的景観申請の意義」 (13:15～13:45)

中越信和 (広島大学大学院国際協力研究科)

第2報告 「幅広い参画による阿蘇草原の利用・管理」 (13:45～14:15)

山内康二 (阿蘇グリーンストック)

第3報告 「千年の草原を後世に残す担い手の創造」 (14:15～14:45)

市原啓吉 (町古閑牧野組合長)

コメント

第1報告に対するコメント (14:50～15:05)

横山秀司 (九州産業大学商学部)

第2報告に対するコメント (15:05～15:20)

岡野隆宏 (鹿児島大学法文学部)

第3報告に対するコメント (15:20～15:35)

関司直也 (法政大学現代福祉学部)

休憩 15:35～15:50

パネルディスカッション (15:50～17:10)

座長総括 (17:10～17:20))